

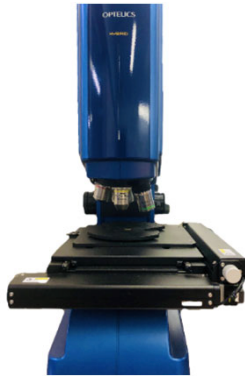
コンフォーカル顕微鏡のご紹介

1. 概要

コンフォーカル(共焦点)顕微鏡は、光学系内のピンホールにより、焦点の合っていない箇所からの不要散乱光を除去することで、通常の光学顕微鏡に比べて高コントラスト、高分解能の観察・測定が可能です。

また焦点位置を変えながらZ方向に連続スキャン測定することで、視野全面に焦点が合った1枚の画像を得ることができ、取得した高さ方向の情報から表面粗さ測定や3D表示を行うことができます。

2. 装置仕様



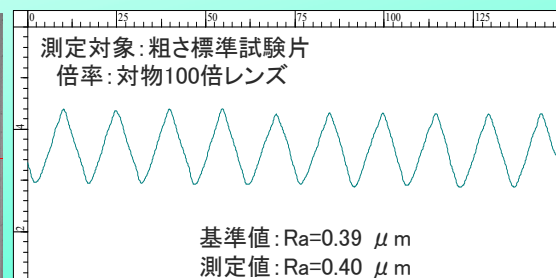
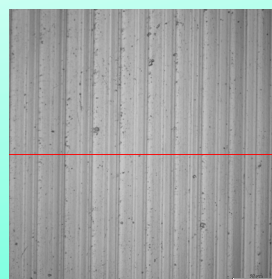
装置名	白色コンフォーカル顕微鏡 (レーザーテック社製)
観察範囲(/1視野)	5倍レンズ(Min) 100倍レンズ(Max) 3.0 mm × 3.0 mm ~ 0.15mm × 0.15 mm * モニター上の倍率で、92~1850倍相当の撮影が可能
基本性能	表面観察、幅測定、高さ測定、表面粗さ測定、3D表示
データ解析	面積、面積率、体積、アスペクト比等の20項目
その他	受光器をRGBから選択可能、カラー撮影にも対応 パッチワーク測定による広範囲撮影が可能 トレーサビリティ対応○

3. 測定事例

<非接触式の表面粗さ測定>

非接触式で測定するメリット

- ・試料に傷をつけることなく測定できる
- ・柔らかい材料も測定できる
- ・スポット径が小さいため、微細形状
微細構造物の測定にも対応可

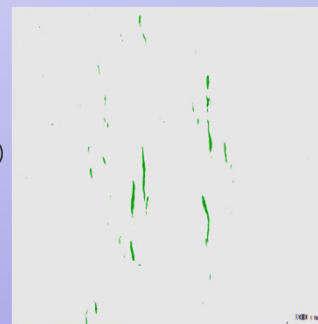


<金属組織の観察>

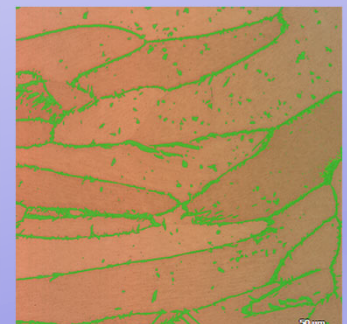
- 鏡面研磨もしくはエッチングにより観察面仕上げ
- 二値化画像処理を行い、対象部を抽出(右図の緑色)

■解析例■

- ・介在物、析出物、ポイドなどの面積率、最大長、アスペクト比
- ・α相、γ相の面積率測定



炭素鋼の例



二相ステンレス鋼の例